

SEED — Research & Education Program

(実施団体:一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク)

目的・目標

本事業は、日本の舞台芸術コンテンツを持続的に海外展開する基盤を築くことを目的とする。劇作家・演出家・プロデューサーを中心に、国際的に通用するスキルとマインドセットを備えた人材を育成するため、教育機関や企業に実装可能なカリキュラムを構築する。国内外でのリサーチを通じて人材要件を定義し、教育プログラムを試行・実証した上でモデル化することで、次世代人材の育成と国際展開を一体的に推進する。

概要

本事業は、日本発の舞台芸術を持続的に海外展開する基盤形成を目指し、人材要件の定義、仮説検証を目的としたリサーチプログラム、教育カリキュラム導入プログラム、インターンシッププログラムなどを試験的に実施する。各プログラムから得られたナレッジを元に、モデルカリキュラムを作成し、並行してクリエイター育成に伴い必要となるメンタルヘルス研修、就業環境改善研修なども実施することで、総合的に次世代人材の育成を推進する。

3年目までの取組

第I期の3か年では国際的な教育カリキュラムの構造や教育手法、育成指標について理解を深めるためのリサーチを実施。人材育成における課題定義を目的としたヒアリングを教育機関・民間企業に対して行い、求められる人材の要件定義を行う。並行して教育プログラムのプロトタイプ的な実装を行い、各プログラムでの実施内容やフィードバックをもとに他の教育機関や社会人講習としても展開可能なカリキュラムのモデル化を3年度目に実施する。

5年目までの取組

第I期にてモデル化されたプログラムをもとに、多くの教育機関と連携し、教育プログラム、インターンシッププログラムのさらなる実装を行う。また国外のフェスティバルや教育機関との連携も増強することで、育成対象者の派遣先を拡大し、より国内の舞台芸術コンテンツが持続的に海外展開される基盤を築く。

中核となる指導者等

- アドバイザーとして、以下5名にご参画いただく(敬称略・五十音順)
- ・奥山緑 (日本大学芸術学部演劇学科主任)
 - ・高萩宏 (世田谷パブリックシアター・館長)
 - ・福井健策 (骨董通り法律事務所 For the Arts・共同パートナー)
 - ・松田誠 (一般社団法人日本2.5次元ミュージカル協会・代表理事)
 - ・渡辺ミキ (ワタナベエンターテインメント代表取締役)

国際的な場での実践の取組例

- ・国立高等演劇学院(フランス)と日本大学芸術学部演劇学科の国際共同制作。国内の学生を国際的な共同制作の現場へと派遣し、海外での実践的な学びの機会の獲得、国内の舞台演劇コンテンツの国際展開のための人材育成を目的として実施する。(1年目3月)

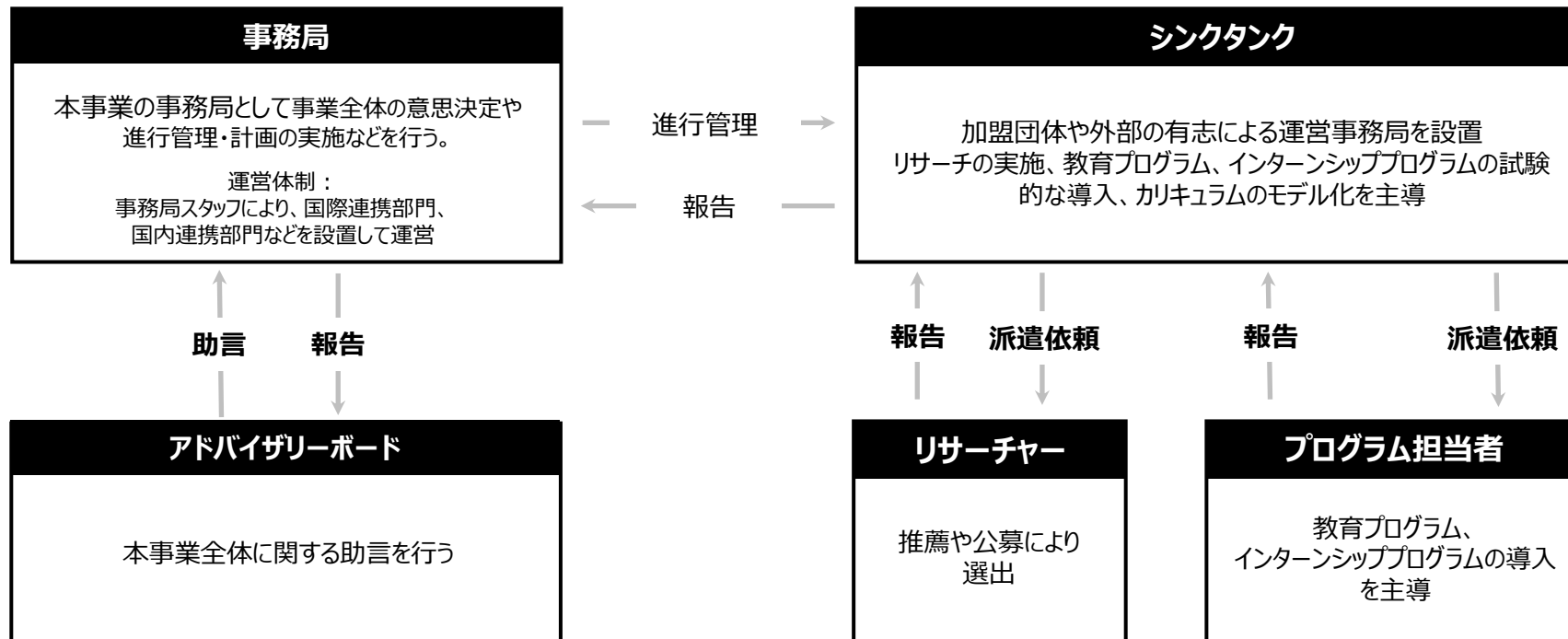
(区分・分野)
舞台(対象となる職種)
劇作家、演出家、プロデューサー(育成人数)
250名/3年

成果目標(見込)	目標値
国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数	3年目: 6件 5年目: 10件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目: 30件 5年目: 50件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数	3年目: 1件 5年目: 5件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目: 250人 5年目: 400人

実施体制

主体

一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク



リサーチ先候補

海外教育機関

School of Art, Columbia University (米) /
Royal Welsh College of Music & Drama (英) / 韓国
芸術総合学校 (韓) 他

海外民間事業者

Pomegranate Arts (米) / ArKtype (米) /
パリ市立劇場 (仏) /

教育プログラム実装先となる
国内教育機関の候補

東京演劇大学連盟

日本大学芸術学部 / 桜美林大学芸術文化学群 /
玉川大学芸術学部 / 多摩美術大学美術学部 /
桐朋学園芸術短期大学芸術科

※その他の大学機関との連携も検討

インターンシッププログラム
実装先となる国内企業の候補

緊急事態舞台芸術ネットワーク
会員企業など

協力

協力